

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品…定額法によって行っている。

(2) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
30周年記念事業積立資産	500,000	0	500,000	0
合 計	500,000	0	500,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	取得価額	当年度増加額	当年度減少額	什器備品減価償却累計額	当期末残高
固定資産					
什器備品	382,357	0	0	242,804	139,553
合 計	382,357	0	0	242,804	139,553

5. 関連当事者との取引の内容

該当なし

6. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため、省略している。

2. 引当金の明細

該当なし。